

## プレスリリース

報道関係各位

2008年6月26日

### 環境配慮型素材、“アルミニウム”の未来のカタチを探る 『SUSアルミニウムアワード2008』を開催 ～建築や家具、プロダクトなど“アルミが変えていく生活”のアイデアを募集～

アルミ製住宅や建築構造材の製造販売およびFA向け機械装置の製造販売を手がけるSUS株式会社（静岡県静岡市、代表取締役社長：石田保夫、www.sus.co.jp）は、“アルミニウム”という素材の可能性を探るデザインコンテスト『SUSアルミニウムアワード2008』を開催、2008年8月1日（金）より9月30日（火）まで作品を募集いたします。

本アワードは、軽量で、耐食性、リサイクル性に優れた“アルミニウム”に適した用途や次世代を見据えた可能性を探ることを目的に、毎年テーマを変えて開催しているデザインコンテストです。6回目となる今年の募集テーマは、“アルミが変えていく生活”。資源の枯渇問題や原材料価格の高騰、地球温暖化問題などが叫ばれるとともに、これからの地球環境と永く共生・共存し得る優しい素材、資源が求められている昨今、建築や空間、家具、プロダクトなど様々なジャンルにおいて、アルミニウムを用いたこれからのデザイン、斬新なアイデアを募集いたします。

審査員には今回、次世代を担うクリエイターとして第一線で活躍する方々を迎えました。情報機器から日用品、家具などプロダクト全般を手がけるの岩崎一郎氏（プロダクトデザイナー）、オムロンの体温計「けんおんくん」や KDDI のローテーション向け携帯電話「Sweets」シリーズのデザインで有名な柴田文江氏（インダストリアルデザイナー）、斬新でユニークなデザインで注目を集めるマーク・ダイサム氏（建築家・デザイナー）の3名を新たに迎え、柔軟な視点で作品を審査いたします。賞金は、最優秀賞100万円（1点）、優秀賞50万円（1点）、佳作10万円（5点）です。プロ・アマ問わずどなたでも応募でき、応募方法は、新たな建築や空間、家具、プロダクト等のアイデアをイメージ図（スケッチなど）や図面でA2サイズ1枚にまとめ、応募用紙と一緒に事務局に送付していただきます。応募用紙はウェブサイト（<http://ecom.sus.co.jp/>）からダウンロードできます（ウェブサイトは7月1日公開予定）。なお、結果発表（ウェブサイト等）と表彰式（於：東京）は11月初旬～中旬を予定しています。

アルミは「3R」（リデュース・リユース・リサイクル）に適しているほか、軽量ながら強度が高い、耐食性がよい、加工がしやすい、優れた質感を表現できるといった特長から、建築やプロダクトの分野で注目を集めています。SUSでは今後とも、本アワードの開催等を通じてアルミの新たな可能性を模索していくとともに、素材の有用性の認知拡大を図っていきます。



左から、木の温もりとアルミを調和したSUS福島工場社員寮[建築設計：伊東豊雄建築設計事務所]、シンプルさを追求したアルメッシュテーブルとチェア（中央上）、アルミの曲線が印象的なアイランドシティ中央公園便所[建築設計：伊東豊雄建築設計事務所]（中央下）、アルミパネルでつくられたエコムスハウス[建築設計：山本理顕設計工場]、組み合わせ方次第で無数のスタイリングが可能なグリッドシェルフ[山本理顕設計工場（協力：GK 設計）]

#### 【本リリースに関するお問い合わせ】

SUS本社広報担当： 関口 / 電話： 03-3222-6175 / e-mail : [saa2008@sus.co.jp](mailto:saa2008@sus.co.jp)

# SUSアルミニウムアワード2008 実施概要

名 称: SUSアルミニウムアワード2008

募 集 テーマ: 「アルミが変えていく生活」

アルミニウムの特徴を生かすことで、生活そのものを変えるような喚起力のあるデザイン提案を募ります。「軽量で、耐食性、リサイクル性に優れる」とは従来からよく語られるアルミの特性ですが、それ以外にも未知なる可能性を秘めているかもしれません。また、機能面の追求だけでなく、人間の感情に訴えるようなデザインもあるのではないのでしょうか。建築や空間、家具、プロダクトにおいて、“オールアルミ”にこだわることなく、ユニークな提案をお寄せください。

応 募 資 格: プロ・アマ問わずどなたでも応募可能

応 募 期 間: 2008年8月1日(金)～9月30日(火)必着

応 募 方 法: ウェブサイトより専用の応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入して署名捺印の上、作品と共に事務局に送付

ウェブサイトURL: <http://ecom.sus.co.jp/> (2008年7月1日公開予定)

応 募 規 定: アイデアのイメージ図(スケッチなど)や図面、解説をA2サイズ1枚でまとめる。形式は自由。モデルや模型の提出は不可。

※解説には日本語、または英語を用いてください。

審 査 員: 岩崎 一郎 (プロダクトデザイナー)  
柴田 文江 (インダストリアルデザイナー)  
マーク・ダイサム (建築家・デザイナー)  
石田 保夫 (SUS株式会社 代表取締役社長)

審 査 方 法: 書類選考(10月初旬予定)

賞 典:	最優秀賞	(1作品)	賞金100万円
	優秀賞	(1作品)	賞金50万円
	佳作	(5作品)	賞金10万円

結 果 発 表: 2008年11月初旬にウェブサイト等を通じ発表します。なお受賞者にはその前に直接通知します。

応募・問い合わせ先: SUSアルミニウムアワード事務局  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-1-1 ORIKEN平河町ビル2F  
SUS広報チーム  
TEL:03-3222-6175  
e-mail: [saa2008@sus.co.jp](mailto:saa2008@sus.co.jp)  
URL: <http://ecom.sus.co.jp/>

主 催: SUS株式会社